



平成25年9月11日
海上保安庁

夏季安全推進活動期間の事故発生状況 速報値
(7月1日～8月31日の2ヶ月間)

(事故発生状況の特徴)

プレジャーボート等の船舶事故

- ・船舶事故隻数は、昨年に比して32隻(約10%)減少したものの、過去5年ほぼ横ばい
- ・死者・行方不明者数は、過去5年ほぼ横ばい

マリンレジャーに伴う人身事故

- ・事故者数及び死者・行方不明者数は、昨年に比して66人(約15%)減少し、過去5年間で最少
- ・遊泳中の事故者のうち飲酒をしていた者の事故者数及び死者・行方不明者数は、過去5年間で最多

夏季安全推進活動期間中のプレジャーボート等の船舶事故、プレジャーボート等乗船中の事故及びマリンレジャー活動に伴う海浜事故の発生状況は、それぞれ以下のとおりです。

- ・「プレジャーボート等」とはプレジャーボート(モーターボート、ヨット、水上バイク等)及び遊漁船をいう。
- ・「マリンレジャー活動」とは遊泳、釣り、磯遊び、スキューバダイビング及びサーフィン等をいう。

1 プレジャーボート等の船舶事故

事故隻数 310隻(昨年比32隻減)

【過去5年間の7/1～8/31における船舶事故の推移】

	21年	22年	23年	24年	25年
船舶事故隻数 (単位:隻)	278	313	313	342	310
死者・行方不明者数 (単位:人)	5	2	4	3	3

プレジャーボート等の船舶事故隻数は、過去5年平均(311隻)とほぼ同数となり横ばいで推移し、事故種類別では、機関故障、衝突、乗揚、運航阻害の順となっており、特に水上オートバイによる衝突事故隻数が昨年比2.3倍の23隻と急増しました。

また、船舶事故による死者・行方不明者数も過去5年間でほぼ横ばいで推移しています。

2 プレジャーボート等乗船中の人身事故

事故者数 71人 (昨年比13人増)

うち死者・行方不明者数 10人 (昨年比3人増)

【過去5年間の7/1～8/31における発生状況の推移】

	21年	22年	23年	24年	25年
事故者数(人)	46	45	62	58	71
死者・行方不明者数(人)	7	9	6	7	10

プレジャーボート等乗船中の人身事故者数は、死者・行方不明者数とともに過去5年で最多となりました。

船種別では、免許検査が不要なミニボート以外のボートによる事故が最も多く、次いで、水上オートバイによる事故となります。

3 マリンレジャーに伴う人身事故

事故者数 364人 (昨年比66人減)

うち死者・行方不明者数 111人 (昨年比17人減)

【過去5年間の7/1～8/31における発生状況の推移】

	21年	22年	23年	24年	25年
マリンレジャーに伴う人身事故者数(人)	412	411	410	430	364
死者・行方不明者数(人)	135	150	125	128	111

マリンレジャーに伴う人身事故者数は、死者・行方不明者数とともに過去5年で最少となりました。

事故者数を種類別にみると遊泳中の事故者数が最も多く、全体の約60%を占めています。

サーフィン中、スキューバダイビング中、釣り中の事故については、過去5年間の平均に比して大幅に減少しています。

事故者数の総数が400人を割るのは平成15年以来となります。

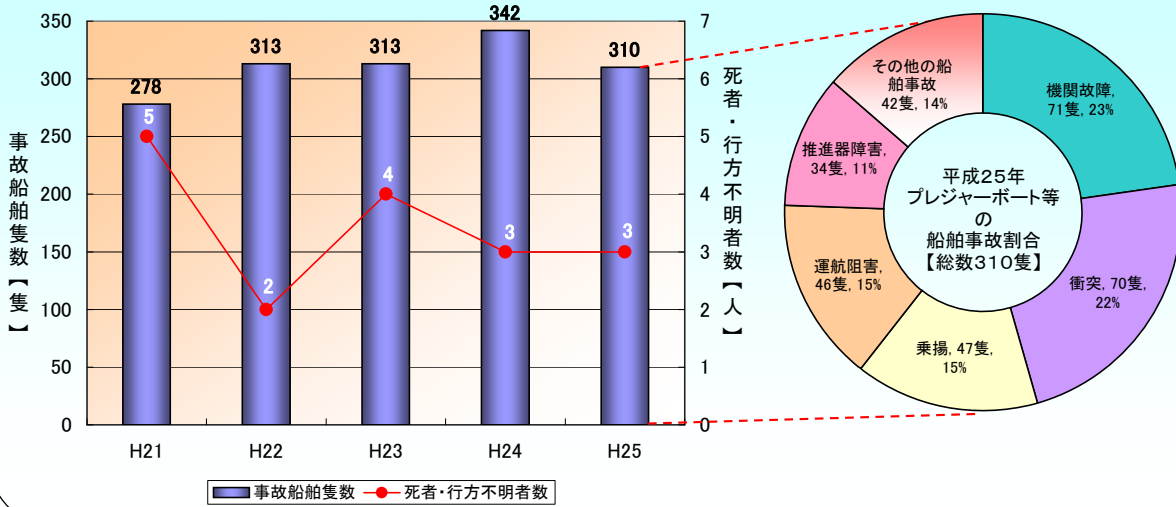
【過去5年間の7/1～8/31における遊泳中の事故者のうち飲酒をしていた者の事故発生状況の推移】

	21年	22年	23年	24年	25年
遊泳中の事故者のうち 飲酒をしていた者の 事故者数(人)	22	27	25	35	37
死者・行方不明者数 (人)	14	21	12	17	25

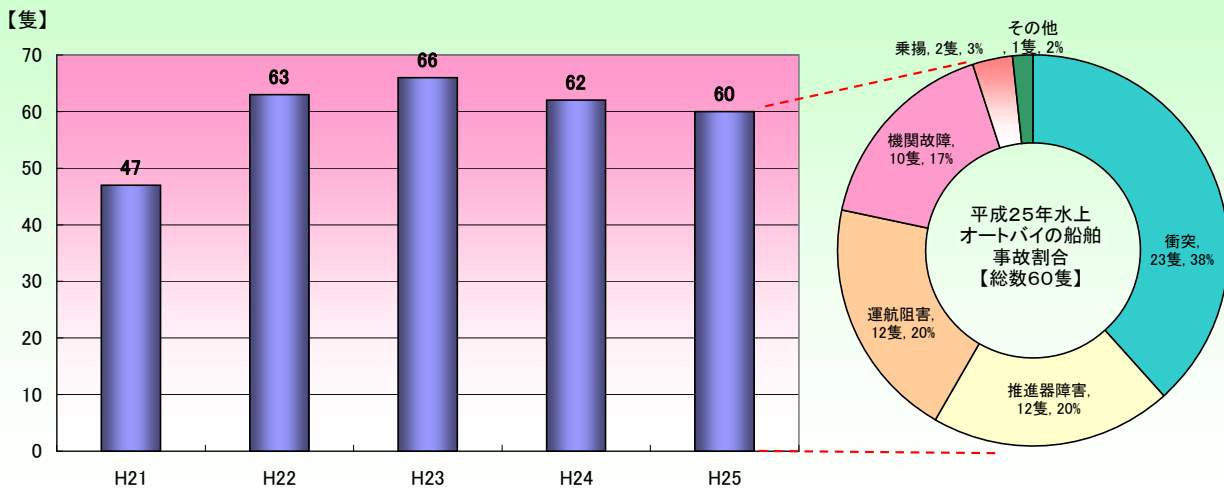
遊泳中の事故者のうち飲酒をしていた者の事故者数は、死者・行方不明者数とともに過去5年間で最多となりました。

遊泳中の事故者のうち飲酒をしていた場合は、飲酒をしていない場合と比較して、死者・行方不明者となる割合が高くなっています。

過去5年間のプレジャーボート等の船舶事故発生状況（7月1日～8月31日）

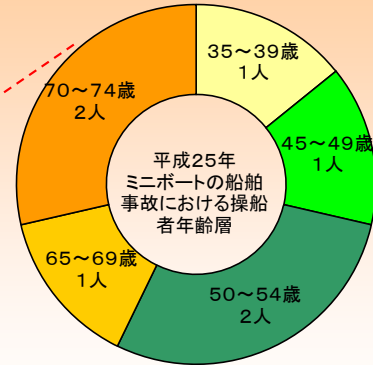
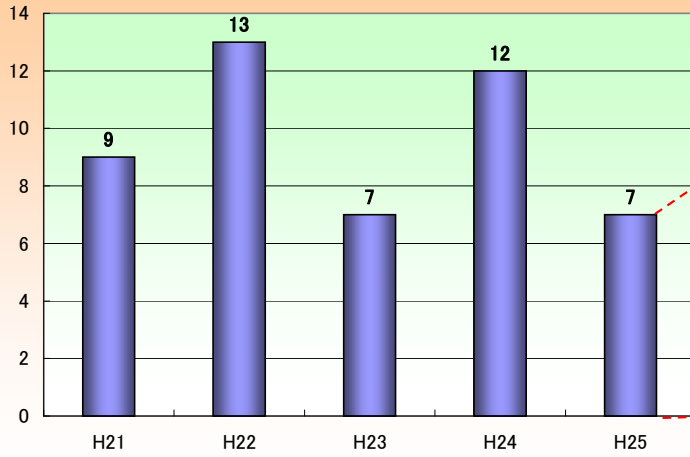


過去5年間の水上オートバイの船舶事故発生状況（7月1日～8月31日）



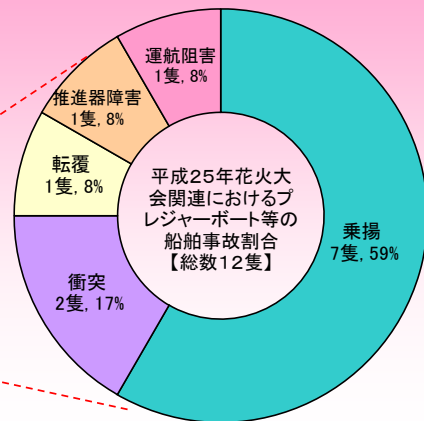
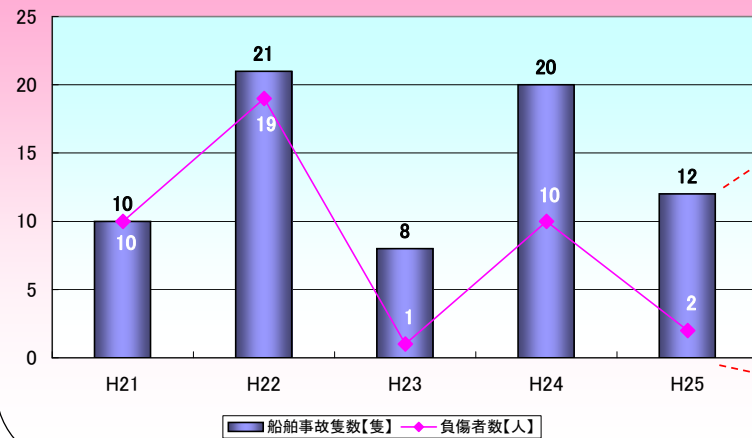
過去5年間のミニボートの船舶事故状況（7月1日～8月31日）

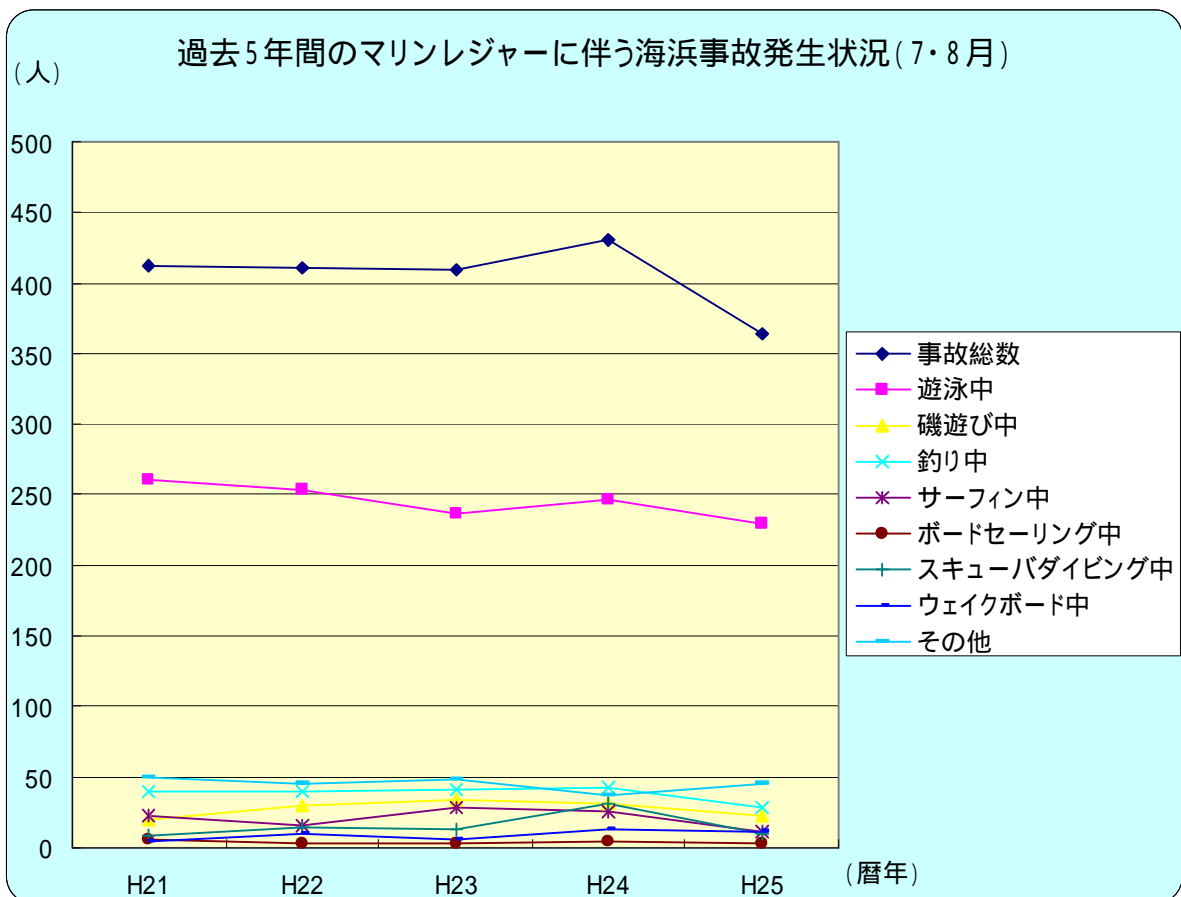
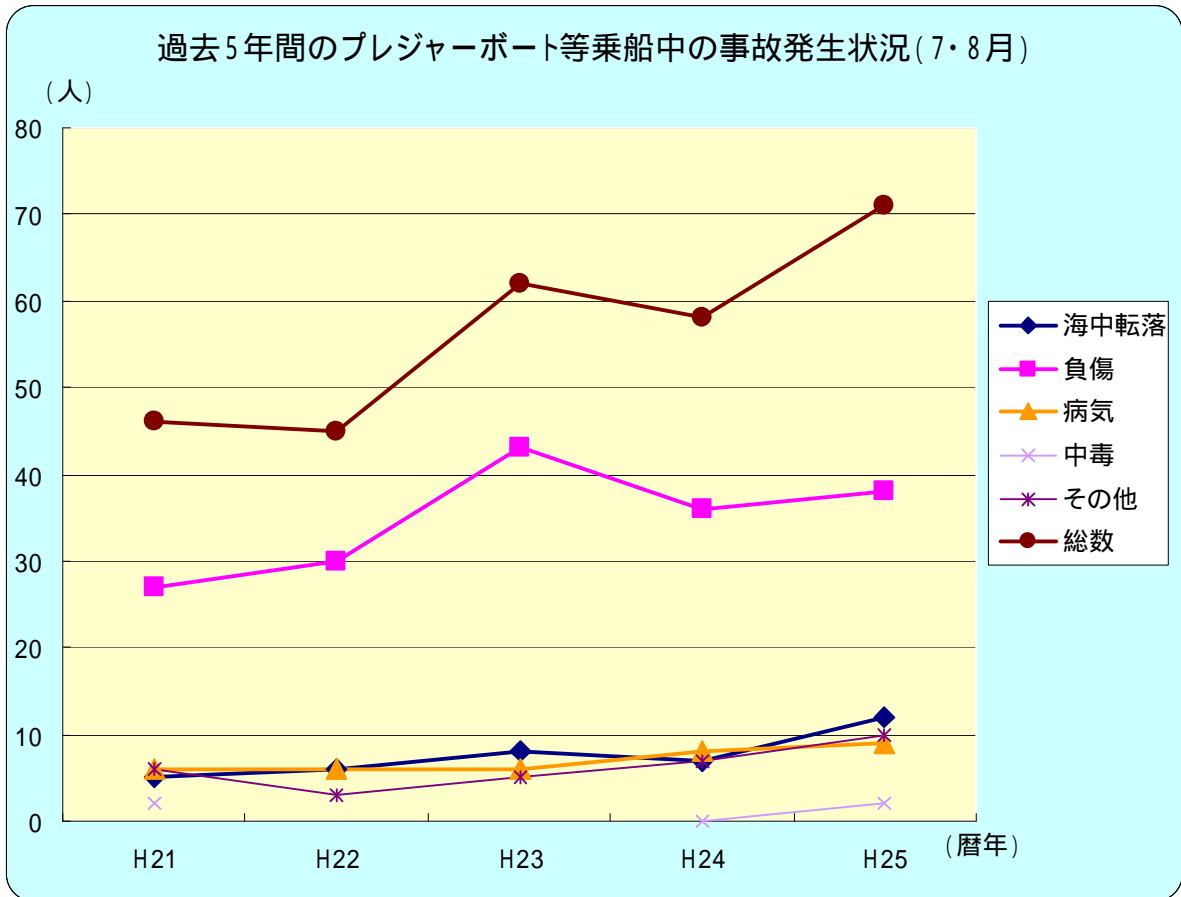
【隻】



過去5年間の花火大会関連におけるプレジャーボート等の船舶事故状況（7月1日～8月31日）

【隻】





(参考資料)

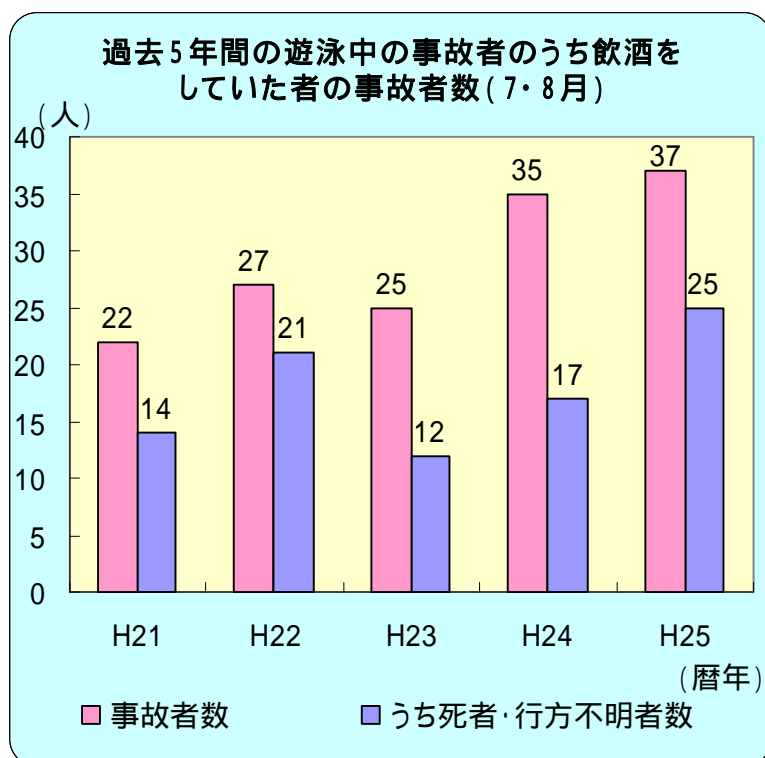
過去5年間のマリレジャーに伴う海浜事故者数(7・8月)

(単位：人)

		H21	H22	H23	H24	H25
遊泳中	事故者数	261	253	236	247	230
	うち死者・行方不明者	93	100	75	80	81
磯遊び中	事故者数	20	30	34	31	23
	うち死者・行方不明者	11	15	19	13	12
釣り中	事故者数	40	39	41	42	29
	うち死者・行方不明者	17	14	17	16	13
サーフィン中	事故者数	23	16	29	25	12
	うち死者・行方不明者	2	4	3	5	1
ボードセーリング中	事故者数	5	3	3	4	3
	うち死者・行方不明者	0	0	0	0	0
スキューバダイビング中	事故者数	9	14	13	31	10
	うち死者・行方不明者	4	9	3	12	3
ウェイクボード中	事故者数	4	10	6	13	11
	うち死者・行方不明者	0	1	0	1	0
その他	事故者数	50	46	48	37	46
	うち死者・行方不明者	8	7	8	1	1
事故総計	事故者数	412	411	410	430	364
	うち死者・行方不明者	135	150	125	128	111

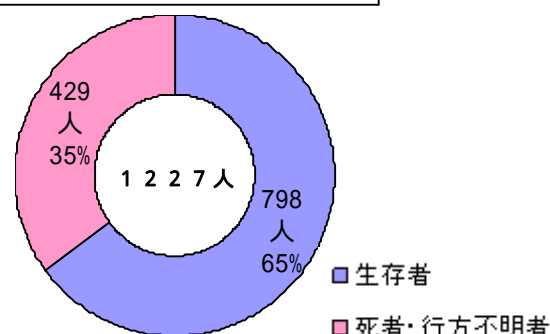
その他は、被引浮体遊具使用中、パラセーリング中の事故等

過去5年間の遊泳中の事故者のうち飲酒をしていた者の事故発生状況及び死亡率(7・8月)

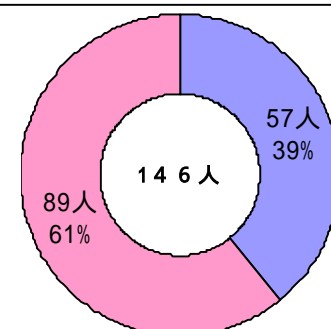


過去5年間の死亡率

遊泳中の事故者の死亡率



飲酒をしていた者の死亡率



夏季期間中に発生した特異な事故について

1 プレジャーボート等の船舶海難

水上オートバイによる衝突事故

イベント参加中、海水浴場から出港し沖合向け航行中の水上オートバイ（船長30歳、男性ほか2名乗船）と同イベント参加中の沖合から海水浴場向け、3名乗船の浮き輪状のものを曳航しながら航行中のプレジャーボート（船長29歳、男性ほか2名乗船）と浮き輪状のものが衝突し、水上オートバイに乗船中の3名のうち2名負傷、1名死亡した。

水上オートバイによる推進器障害事故

事故船舶（船長37歳、男性）は、職場の同僚2名と共に水上オートバイでウェイクボードを曳航し遊走するためスロープを出港し、水上オートバイでウェイクボードの曳航を開始した。

休憩後、再度曳航を開始しようと、該船船長が曳航ロープをウェイクボート上にいる同僚に渡すため接近したところ、誤って曳航ロープを該船の給水口に吸い込ませ、絡索したことにより航行不能となった。

2 マリンレジャーに伴う海浜事故

釣り中の海中転落事故

事故者（66歳、男性）は、仲間2名とともに瀬渡船で磯場に渡り磯釣り中、午後6時頃大波にさらわれ海中転落し、沖へ流された。仲間は携帯電話で警察等に通報するも電波状態が悪く通報不可、海中転落者は一時行方不明となったが、救命胴衣を着用していたため海面を漂流し、一夜を明かした翌日の午前6時過ぎ、捜索中の漁船により無事発見救助された。

飲酒後の遊泳者の死亡事故

事故者（63歳、男性）は、海水浴場において家族や仲間など15～20名でバーベキューをしつつ飲酒後、遊泳を開始したものであるが、途中姿が見えなくなり、浜から5メートル、水深1メートルのところ仲間により発見、陸に引き上げられた後、病院に搬送されるも、医師により死亡が確認された。